

## 上越教育大学研究プロジェクト 終了報告書（特別研究・一般研究）

研究代表者 所属・職名 人文・社会教育学系 教授

氏 名 志村 喬

研究期間 令和2年度～令和3年度

研究プロジェクトの名称	教科の本質を踏まえた教育課程の編成及び実施に関する大学院共通科目実践に向けた協働的研究
研究プロジェクトの概要	<p>本研究は、専門職学位課程の共通科目領域「1教育課程の編成・実施に関する領域」において、教科教育の本質をふまえた授業科目を実践するための理論的・実践的な知を協働開発することを目的とした。</p> <p>全国に先駆けた本学の専門職学位課程では豊かな成果を蓄積してきた。令和4年度からは、修士課程の教科教育研究者も同課程に参加し、全国的にみて教科教育が充実した特色ある専門職学位課程が発足する。</p> <p>本研究プロジェクトは、両課程がこれまで蓄積してきた成果を踏まえたうえで新たな組織・課程の特色を、共通科目の授業実践で活かす理論知・実践知を協働的に生成することをめざし、両課程所属の研究メンバーが恒常的な情報交換・全体研究会等を通して共同研究を進めた。</p> <p>その結果、参加メンバー全員で担当する授業（R4年度の共通科目領域1）「教科の本質を踏まえたカリキュラムデザインの理論と実践」シラバスと実践に向けた教材資料を開発することができた</p>
研究成果の概要	<p>本研究の全体研究成果は、R4年開始の専門職学位課程の共通科目領域「1教育課程の編成・実施に関する領域」における「教科の本質を踏まえたカリキュラムデザインの理論と実践」（担当：志村、渡部、迎、岩崎、山田、茨木、中平）のシラバス及びその実践に向けた教材資料である。これらは、これまでの専門職学位課程所属教員と修士課程所属教員が共同研究して開発したものであり、本取組課題に定めるものである。</p> <p>また、全体研究成果と並行して、参加する全ての教科（国語、算数・数学、理科、社会）にわたり、個別研究成果が得られ発表された。</p>
研究成果の発表状況	別紙（研究プロジェクト成果報告書）記載の通り（著書3編，論文7編）
学校現場や授業への研究成果の還元について	上記のような研究活動・研究成果発表内容をもとに、令和4年度から新たに新設される専門職学位課程の共通科目領域「1教育課程の編成・実施に関する領域」において、本プロジェクトに参加した教員全員で科目「教科の本質を踏まえたカリキュラムデザインの理論と実践」を担当する。したがって、プロジェクト成果は、次年度の本授業で実践的に還元されるものである。